

**理想の働き方は「オフィス出社中心」が7割以上で最多。
週休3日制への期待も明らかに**

- 働き方に関する調査 -

<https://insight.rakuten.co.jp/report/20250318/>

楽天インサイト株式会社（以下「楽天インサイト」）は、「働き方に関する調査」をインターネットで実施しました。今回の調査は、2025年1月31日（金）から2月4日（火）の5日間、「楽天インサイト」に登録しているモニター（約220万人）の中から、全国の20～69歳の会社員・会社役員・公務員1,000人を対象に行いました。本調査では、理想の働き方に関する考えや、東京都が2025年度から導入する「選択的週休3日制」についてなどを調査しました。

■□ 調査結果 □■

■理想の働き方は「オフィス出社中心」が71.1%で最多

理想の働き方（形態）について聞いたところ、全体では「オフィス出社中心」（注）と回答した人が71.1%と最も多く、次いで「ハイブリッド（テレワークとオフィス出社の併用）」（12.0%）、「テレワーク中心」（9.4%）が続いた。性年代別でみると、「オフィス出社中心」では男性20代（81.0%）が最も多く、次いで女性20代（78.0%）が続いた。また、現在の働き方（形態）を聞いたところ、全体では「オフィス出社中心」（74.5%）と回答した人が最も多く、次いで「ハイブリッド（テレワークとオフィス出社の併用）」（9.8%）、「テレワーク中心」（7.9%）が続いた。

◇「理想の働き方」の回答状況（n=1,000：全員回答）単一回答 単位：%

		(n)	テレワーク中心	オフィス出社中心	ハイブリッド (テレワークとオフィス出社の併用)	その他
全体		(1,000)	9.4	71.1	12.0	7.5
性別	男性	(500)	7.8	68.0	14.0	10.2
	女性	(500)	11.0	74.2	10.0	4.8
性年代	男性20代	(100)	3.0	81.0	9.0	7.0
	男性30代	(100)	6.0	69.0	17.0	8.0
	男性40代	(100)	10.0	62.0	16.0	12.0
	男性50代	(100)	8.0	61.0	14.0	17.0
	男性60代	(100)	12.0	67.0	14.0	7.0
	女性20代	(100)	12.0	78.0	6.0	4.0
	女性30代	(100)	11.0	76.0	12.0	
	女性40代	(100)	13.0	72.0	8.0	7.0
	女性50代	(100)	12.0	73.0	12.0	3.0
	女性60代	(100)	7.0	72.0	12.0	9.0

※ 2%未満のグラフスコアは非表示 (%)

◇ 「現在の働き方」の回答状況 (n=996 : 2025年4月入社予定の方を除く) 単一回答 単位 : %

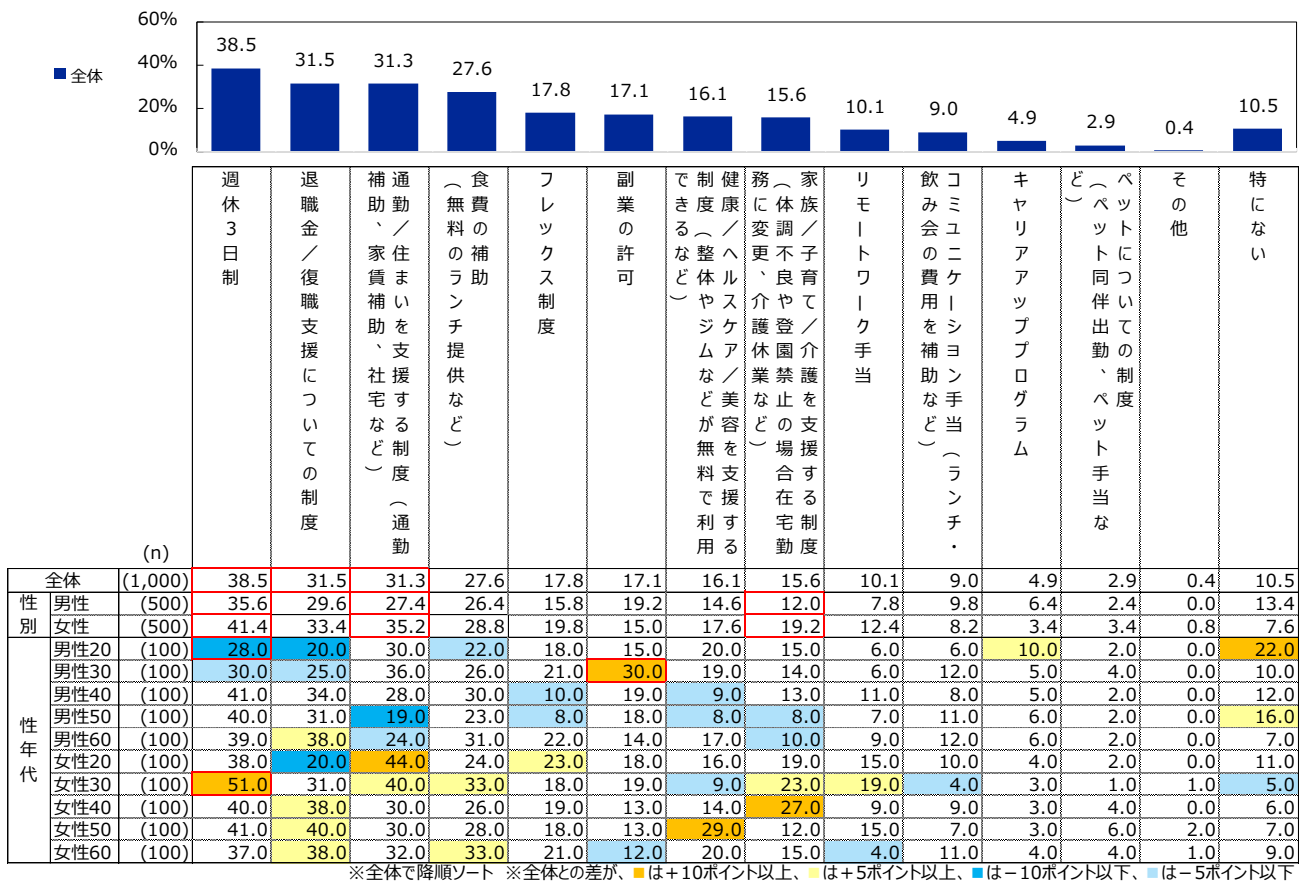
		(n)	テレワーク中心	オフィス出社中心	ハイブリッド (テレワークとオフィス出社の併用)	その他
全体		(996)	7.9	74.5	9.8	7.7
性別	男性	(498)	7.4	70.1	12.2	10.2
	女性	(498)	8.4	78.9	7.4	5.2
性年代	男性20代	(100)	2.0	77.0	13.0	8.0
	男性30代	(98)	6.1	69.4	18.4	6.1
	男性40代	(100)	8.0	68.0	14.0	10.0
	男性50代	(100)	8.0	65.0	9.0	18.0
	男性60代	(100)	13.0	71.0	7.0	9.0
	女性20代	(98)	12.2	77.6	5.1	5.1
	女性30代	(100)	5.0	82.0	12.0	
	女性40代	(100)	10.0	76.0	7.0	7.0
	女性50代	(100)	10.0	80.0	8.0	2.0
	女性60代	(100)	5.0	79.0	5.0	11.0

※ 2%未満のグラフスコアは非表示 (%)

■あると嬉しい制度は「週休3日制」が38.5%で最多。

あると嬉しい制度を聞いたところ、全体では「週休3日制」(38.5%)と回答した人が最も多く、次いで「退職金／復職支援についての制度」(31.5%)、「通勤／住まいを支援する制度(通勤補助、家賃補助、社宅など)」(31.3%)が続いた。性別でみると、「週休3日制」(男性：35.6%、女性：41.4%)や「通勤／住まいを支援する制度(通勤補助、家賃補助、社宅など)」(男性：27.4%、女性：35.2%)、「家族／子育て／介護を支援する制度(体調不良や登園禁止の場合在宅勤務に変更、介護休業など)」(男性：12.0%、女性：19.2%)で女性が男性より5ポイント以上高かった。性年代別でみると、「週休3日制」については女性30代の回答した割合が最も多く、回答した割合が最も低かった男性20代とは20ポイント以上の開きがみられた(男性20代：28.0%、女性30代：51.0%)。また「副業の許可」と回答した割合は男性30代が30.0%で最も多く、他の性年代を10ポイント以上上回った。

◇「あると嬉しい制度」の回答状況 (n=1,000：全員回答) 複数回答(上限3つ) 単位：%



■「選択的週休3日制」は約半数が認知。男性30代では70.0%の認知度

東京都が2025年度から採用する「選択的週休3日制」を知っているかを聞いたところ、全体の「知っている」計(「知っている」(14.8%)と「なんとなく知っている」(37.6%)の合計)は52.4%となった。性年代別でみると、男性30代の「知っている」計が70.0%で最も高く、他の性年代を10ポイント以上上回った。「知っている」計の割合が最も少なかったのは女性40代で40.0%であった。

◇「選択的週休3日制」の認知状況 (n=1,000：全員回答) 単一回答 単位：%

		(n)	知っている	なんとなく知っている	知らない	知っている (計)
全体		(1,000)	14.8	37.6	47.6	52.4
性別	男性	(500)	17.0	39.0	44.0	56.0
	女性	(500)	12.6	36.2	51.2	48.8
性年代	男性20代	(100)	13.0	36.0	51.0	49.0
	男性30代	(100)	28.0	42.0	30.0	70.0
	男性40代	(100)	15.0	39.0	46.0	54.0
	男性50代	(100)	12.0	39.0	49.0	51.0
	男性60代	(100)	17.0	39.0	44.0	56.0
	女性20代	(100)	15.0	37.0	48.0	52.0
	女性30代	(100)	15.0	41.0	44.0	56.0
	女性40代	(100)	13.0	27.0	60.0	40.0
	女性50代	(100)	10.0	36.0	54.0	46.0
	女性60代	(100)	10.0	40.0	50.0	50.0

※ 2%未満のグラフスコアは非表示 (%) ※知っている(計)：知っている + なんとなく知っている
 ※全体との差が、■は+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

■「選択的週休3日制」に「賛成」なのは51.1%。女性20代が最多

「選択的週休3日制」の賛否について聞いたところ、全体では「賛成」が51.1%、「どちらとも言えない」が42.9%、「反対」が5.9%で、「賛成」が「反対」を大きく上回る結果となった。性年代別でみると、女性20代で「賛成」と回答した割合が67.3%と最も多く、他の性年代より10ポイント以上高かった。

◇「選択的週休3日制」の賛否状況

(n=524:「選択的週休3日制」を知っている/なんとなく知っている と回答した人) 単一回答 単位: %

		(n)	賛成	どちらとも言えない	反対
全体		(524)	51.1	42.9	5.9
性別	男性	(280)	48.6	45.0	6.4
	女性	(244)	54.1	40.6	5.3
世代	男性20代	(49)	55.1	40.8	4.1
	男性30代	(70)	51.4	40.0	8.6
	男性40代	(54)	44.4	46.3	9.3
	男性50代	(51)	41.2	52.9	5.9
	男性60代	(56)	50.0	46.4	3.6
	女性20代	(52)	67.3	32.7	
	女性30代	(56)	53.6	44.6	
	女性40代	(40)	55.0	40.0	5.0
	女性50代	(46)	52.2	37.0	10.9
	女性60代	(50)	42.0	48.0	10.0

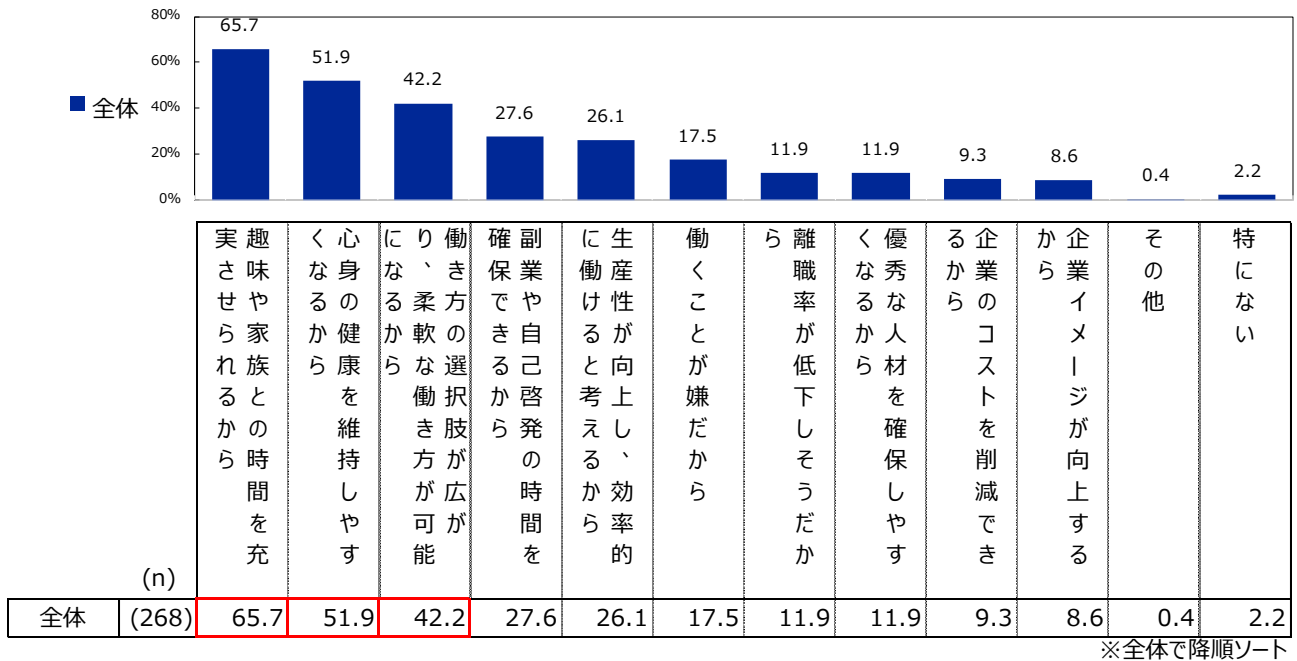
※ 2%未満のグラフスコアは非表示 (%)

■「選択的週休3日制」に賛成の理由は「趣味や家族との時間を充実させられるから」が最多。反対の理由は「収入が減る可能性があるから」

「選択的週休3日制」への賛成理由を聞いたところ、全体では「趣味や家族との時間を充実させられるから」と回答した人が65.7%で最も多かった。次いで「心身の健康を維持しやすくなるから」(51.9%)、「働き方の選択肢が広がり、柔軟な働き方が可能になるから」(42.2%)が続いた。また反対理由を聞いたところ、全体では「収入が減る可能性があるから」と回答した人が48.4%で最も多く、次いで「仕事量が変わらず、負担が増える可能性があるから」(35.5%)、「職場の人手不足が深刻化する可能性があるから」(29.0%)が続いた。

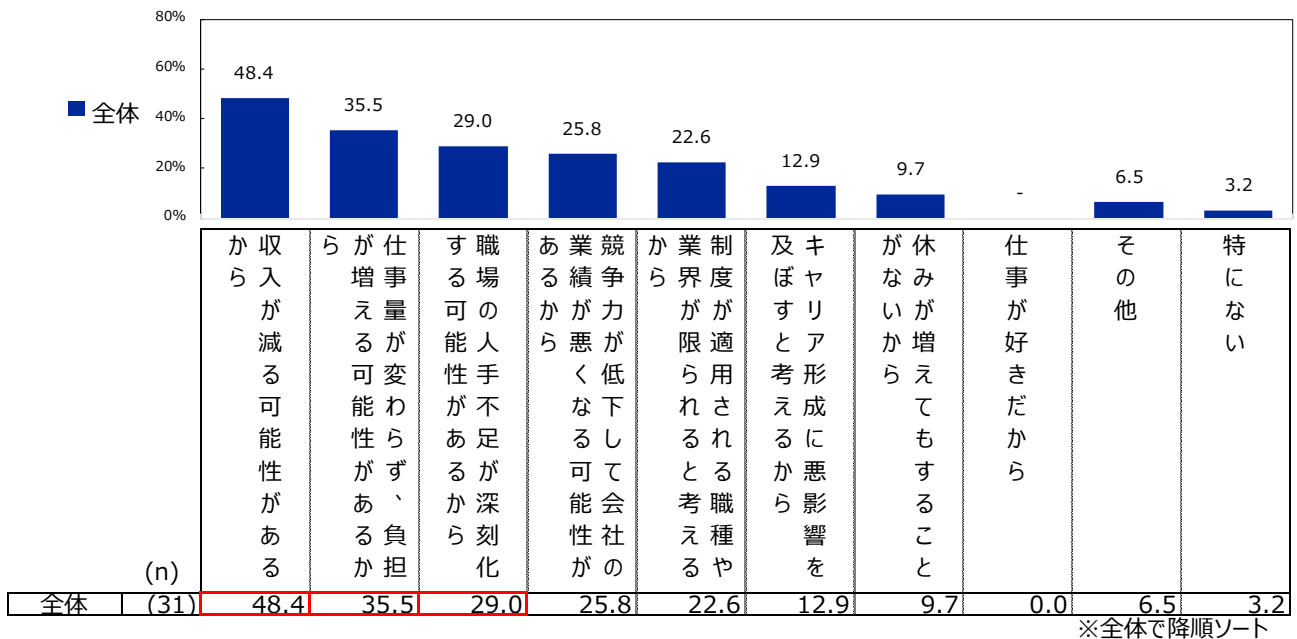
◇「選択的週休3日制」の賛成理由

(n=268：「選択的週休3日制」に賛成と回答した人) 複数回答 単位：%



◇「選択的週休3日制」の反対理由

(n=31：「選択的週休3日制」反対と回答した人) 複数回答 単位：%



(注)「オフィス」は働く場所全般を指します

【調査概要】

調査エリア : 全国

調査対象者 : 20歳～69歳 男女

回収サンプルサイズ : 1,000 サンプルサイズ

調査期間 : 2025年1月31日(金)から2月4日(火)

調査実施機関 : 楽天インサイト株式会社

※本レポートでは小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とならない場合があります。

※本レポートでは実数で全体との差分の色付けをしているため、表記上の数値での差分と異なる場合があります。